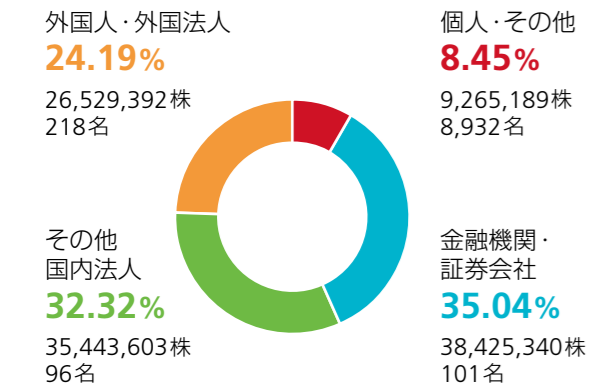


株式の状況 (2017年9月30日現在)

発行済株式総数 109,663,524株

株主総数 9,347名

所有者別分布状況



大株主

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|--|-------------|-------------|
| 大日本印刷株式会社 | 20,727 | 18.90 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 10,480 | 9.56 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 7,077 | 6.45 |
| 農林中央金庫 | 4,653 | 4.24 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9) | 3,221 | 2.94 |
| J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578 | 2,812 | 2.56 |
| 三井物産株式会社 | 2,448 | 2.23 |
| GOVERNMENT OF NORWAY | 2,331 | 2.13 |
| 日本ユニシス従業員持株会 | 2,140 | 1.95 |
| CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW | 1,831 | 1.67 |

* 上記の他、当社は自己株式9,346,965株(持株比率8.52%)を保有しています。

株主メモ

| | |
|-------------------------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 基準日 | 定時株主総会および期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。 |
| 株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 電話お問い合わせ先 | 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日祝日を除く) |
| 単元株式数 | 100株 |
| 公告方法 | 電子公告 http://www.unisys.co.jp/com/notification/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合 は、日本経済新聞に掲載して行います。 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 市場第一部 (証券コード8056) |

- 証券会社に口座を開設されている株主様が、ご住所等の変更や単元未済株式の買取その他の各種お手続きを希望される場合は、口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。
- 特別口座で管理されている株式についての各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行にお申し出ください。

Copyright © 2017 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved.



Forest Stewardship Council® (森林管理協議会) の基準に基づき認証をされた、適切に管理された森林からの材料を含むFSC®認証紙を使用しています。



印刷時に、VOC(揮発性有機化合物)などを含まぬ湿し水が不要となる水なし印刷を採用し、大気保全に配慮しています。



石油系溶剤の一部を植物油に置き換えたベジタブルインキを使用し、VOC(揮発性有機化合物)を削減し、大気保全に配慮しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。

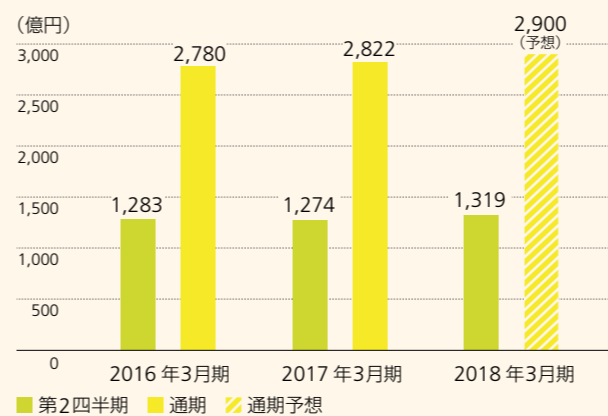
UNISYS 日本ユニシス株式会社



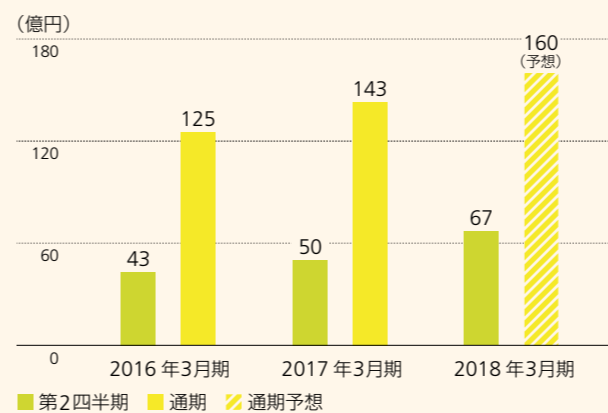
Foresight in sight

業績ハイライト

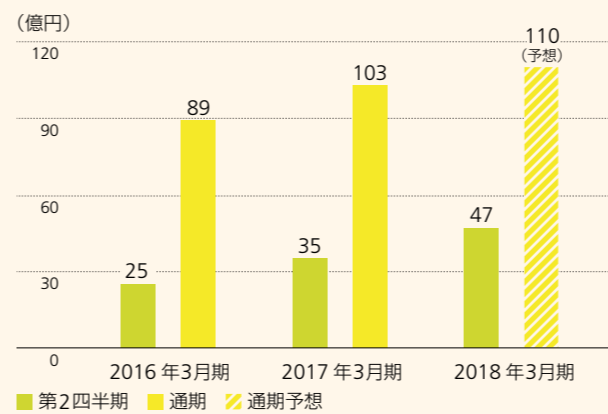
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



ごあいさつ

オープンイノベーションで新しいビジネスを創出し、社会課題を解決するビジネスエコシステムを推進します。



株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2018年3月期第2四半期の業績は、売上高1,319億円(前年同期比3.5%増)、営業利益67億円(同34.4%増)、四半期純利益47億円(同34.6%増)と増収増益となり、収益性は着実に向上しております。日本ユニシスグループは2016年3月期よりスタートした中期経営計画「Innovative Challenge Plan」の最終年度を迎えました。業種・業界を越えて連携するビジネスエコシステム推進のため、「デジタル/ライフィノベーション領域の拡大」、「ビジネスICTプラットフォーム領域の変革」、「企業風土・人財改革」などの重点戦略への取り組みを加速しています。

「デジタルイノベーション」領域では、金融機関向けの営業店変革を加速する顧客接点系フロントソリューションビジネスが拡大しました。また、子会社「チャンネルペイメントサービス」のプラットフォーム連携による決済サービス網が拡大しています。

「ライフィノベーション」領域では、地方創生関連や、シェアリングエコノミー領域でビジネスエコシステムが拡大しています。

「ビジネスICTプラットフォーム」領域では、引き続きビジネスモデルの変革を進めており、サービス型ビジネスへのシフトが順調に進んでいます。

ますます進展するデジタルトランスフォーメーション社会の中で、日本ユニシスグループは、業種・業界の壁を越えて、パートナーとともに社会課題を解決するビジネスエコシステムの「カタリスト(触媒)」として、オープンイノベーションによる新しいビジネスを創出していきます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも末永くご支援賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

2017年12月
代表取締役社長

平岡昭良

2018年3月期第2四半期 連結決算のポイント

業績のポイント

2018年3月期第2四半期の売上高は、ソフトウェア、アウトソーシング売上が堅調に推移した結果、1,319億円（前年同期比3.5%増）となりました。利益面は、主にソフトウェアの売上高増加に伴う利益増加により、営業利益は67億円（同34.4%増）、四半期純利益は47億円（同34.6%増）となりました。

財務のポイント

総資産は、売掛金の減少等により、前期末比80億円減少の1,847億円となりました。負債は有利子負債の減少等により、同145億円減少の875億円、純資産は972億円となり、自己資本比率は51.8%となりました。

2018年3月期 業績予想

2018年3月期の通期計画は、期初時点からの変更はありません。

*業績ハイライトをご参照ください。

配当予想

当期の中間配当金は期初予想通り、1株当たり2.5円増額の20円とさせていただきます。年間配当金の見通しも、1株当たり5円増額の年間40円から変更しておりません。

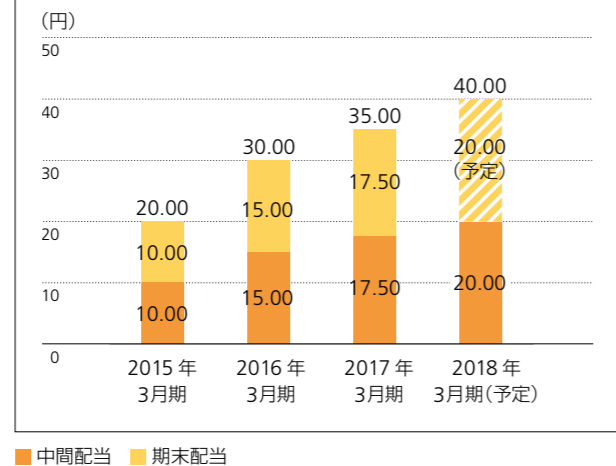
業績の推移

| | 2017年3月期 (第2四半期) | 2018年3月期 (第2四半期) |
|----------------------|---------------------|---------------------|
| 売上高 | 127,449 | 131,867 |
| 売上総利益 | 30,786 | 32,135 |
| 販売費及び一般管理費 | 25,805 | 25,442 |
| 営業利益 | 4,981 | 6,693 |
| 経常利益 | 5,002 | 6,944 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 3,511 | 4,724 |

財務の推移

| | 2017年3月期末 | 2018年3月期 (第2四半期末) |
|---------|-----------|----------------------|
| 流動資産 | 118,255 | 107,871 |
| 固定資産 | 74,439 | 76,805 |
| 資産合計 | 192,694 | 184,677 |
| 流動負債 | 76,448 | 65,791 |
| 固定負債 | 25,473 | 21,660 |
| 負債合計 | 101,921 | 87,451 |
| 純資産合計 | 90,772 | 97,225 |
| 負債純資産合計 | 192,694 | 184,677 |

株主還元（1株当たり配当金の推移）



株主通信 トピックス

中期経営計画「Innovative Challenge Plan」 ～ビジネスエコシステムの創造に向けて～

中期経営計画では、デジタルイノベーション、ライフィノベーション、ビジネスICTプラットフォームを重点戦略と定め、チャレンジと変革に取り組んでいます。

》 デジタルイノベーション

山梨中央銀行・スルガ銀行が 営業店窓口業務支援システム「SmileBranch®」を導入

日本ユニシスは、2017年6月スルガ銀行に、2017年7月山梨中央銀行に、営業店窓口業務支援システム「Smile Branch®*」を導入しました。スルガ銀行では6店舗、山梨中央銀行では3店舗で本ソリューションの利用を開始しており、今後は2行とも全店舗への展開を予定しています。

「SmileBranch®」はお客さまの利便性を向上させ、対話型接客を行うことで、お客さまと行員を「笑顔」にする仕組みです。タブレットを活用することで、これまで事務作業に費やしてきた時間は、お客さまとの対話や提案を行うための時間となり、本業である金融サービスの提供に専念することができます。

今回の「SmileBranch®」導入を含めた金融機関向け営業店システムの豊富な実績を元に、次世代営業システムの販売体制をさらに強化し、新たな受注を目指していきます。

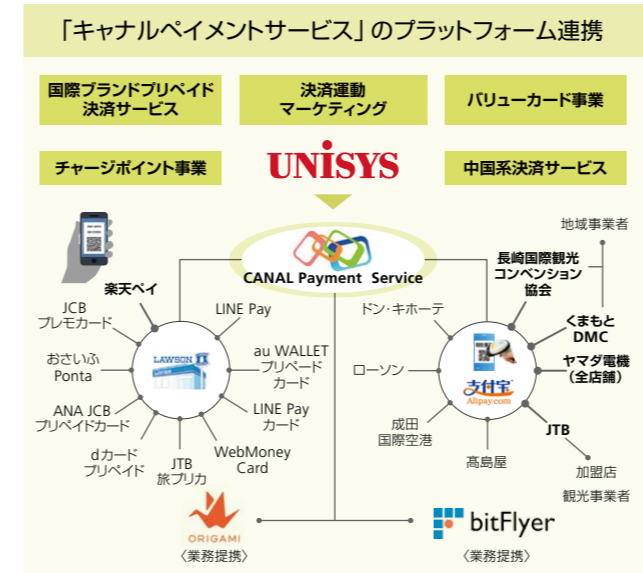
* 営業店窓口業務支援システム「SmileBranch®」：「笑顔があふれる銀行窓口」をコンセプトに、十八銀行と日本ユニシスが共同で開発した営業店窓口支援システムです。プログラムソースの開示と、改変権の付与により、銀行の戦略などに応じて柔軟に開発を行うことができます。



子会社「キャナルペイメントサービス」のプラットフォーム連携によるデジタル決済サービス網の拡大

日本ユニシスグループでは、新たなキャッシュレス社会の実現に取り組む中、子会社「キャナルペイメントサービス」が、「支付宝®(Alipay®)」事業において、JTB、くまもとDMCおよび長崎国際観光コンベンション協会と包括加盟店契約を締結し、観光事業者および熊本県内や長崎市内の地域事業者(店舗や施設)への導入サービスを開始し、普及促進を図っています。そして、全国のローソン店舗で楽天のスマートフォンアプリ決済サービス「楽天ペイ」の利用を可能にするプラットフォームの提供を開始しました。

また、bitFlyer(ビットフライヤー)とビットコイン決済サービスの導入店舗拡大に向けた業務提携を行いました。

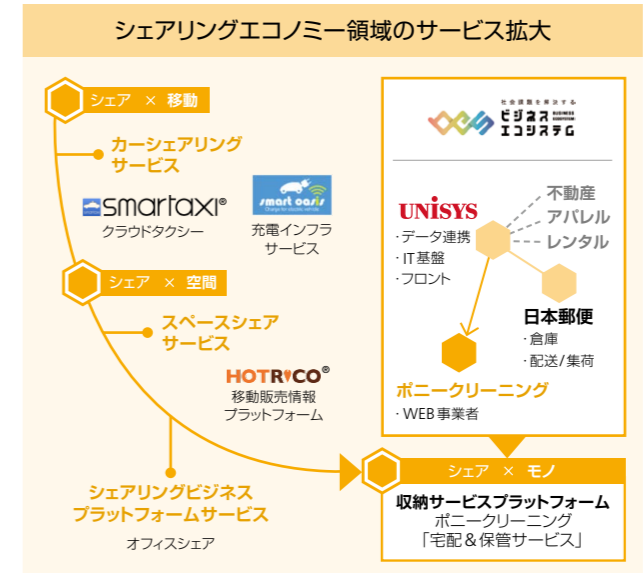


》 ライフィノベーション

「収納サービスプラットフォーム」を利用した、衣類の「ネット宅配&クリーニング保管」サービスを開始

日本ユニシスでは、これまでモビリティや、スペースのシェアリングエコノミーを実現するサービスを提供してきましたが、新たな取り組みとして、ポニークリーニングに「収納サービスプラットフォーム」の提供を開始しました。これにより同社は、「安心」「高品質」を実現した衣類の「ネット宅配&クリーニング保管サービス」の提供を開始しました。

このサービスは、日本郵便の保管倉庫と宅配サービス(ゆうパック、ゆうパケット)を利用した「収納サービスプラットフォーム」のサービス展開第一弾であり、今後、異業種事業者間のビジネス連携を可能とするサービスプラットフォームとして広く展開していきます。



日本ユニシス実業団バドミントン部

女子シングルス 奥原希望が 「世界バドミントン選手権大会2017」で優勝!

2017年8月、イギリス・グラスゴーで行われた「世界バドミントン選手権大会2017」において女子シングルス奥原希望が優勝しました。本大会はオリンピックと並び最高レベルの大会であり、日本人の優勝は、1977年に開催された第1回大会以来、シングルスとしては初の快挙となります。



女子ダブルス 高橋礼華・松友美佐紀組が 「ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2017」で優勝!

2017年9月、東京体育館で行われた「ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2017」において、女子ダブルス高橋礼華・松友美佐紀組が優勝しました。日本で唯一のスーパーシリーズ*である本大会で、3年ぶり2度目の栄冠に輝きました。2度の優勝は日本人として初となります。



* スーパーシリーズ：世界バドミントン連盟(BWF)が2007年より実施しているオリンピック、世界選手権に次ぐグレードの国際大会。